

平成30年度

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」のまとめ

兵庫県教育委員会

# 目 次

I 平成30年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施状況 のまとめ	
1 参加生徒数等について	・・・ 1
2 公立中学校及び県立中等教育学校の活動について	・・・ 2
3 市立特別支援学校の活動について	・・・ 5
II 地域連携推進活動（地域に活かす「トライやる」アクション） 実施状況について	・・・ 6
[資料1] 平成30年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施 後アンケート調査の結果	・・・ 7
[資料2] 平成30年度「トライやる・ウィーク」校区推進委員 会について	・・・ 14

# I 平成30年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施状況のまとめ

## 1 参加生徒数等について

- (1) 実施校は、359校（全公立中学校341校、県立中等教育学校1校、市立特別支援学校17校）  
 6月を中心に実施した学校：223校(62.1%)（内数：市立特別支援学校5校）  
 11月を中心に実施した学校：136校(37.9%)（内数：市立特別支援学校12校）
- (2) 実施期間は、平成30年5月7日～平成30年11月30日
- (3) 参加生徒数は、43,614名（内数：特別支援学級771名、市立特別支援学校130名）
- (4) 班数は、16,827班で1班につき生徒平均2.6名 ※21年間：1,036,851名
- (5) 活動場所数は、17,180カ所で1カ所につき生徒平均2.5名
- (6) 指導ボランティアの数は、23,487名でボランティア1名につき生徒平均1.9名
- (7) 市立特別支援学校の介助補助員数は、51名

年度	実施校数	2年生		班の数	活動場所の数	指導ボランティアの数
		学級数	生徒数			
H30	359	1,328	43,614	16,827	17,180	23,487
H29	360	1,345	44,922	16,872	16,969	22,657
H28	359	1,447	46,502	17,360	17,379	22,901
H27	362	1,418	47,523	17,657	17,557	22,531
H26	362	1,409	48,045	18,040	17,373	22,577
H25	364	1,415	48,801	17,660	17,261	22,955
H24	366	1,448	49,514	17,515	17,312	22,855
H23	365	1,437	48,885	17,355	17,306	21,992
H22	368	1,413	48,094	17,110	16,325	19,858
H21	369	1,403	47,271	16,487	15,893	20,093
H20	371	1,428	48,806	17,515	16,267	19,810

年度	班編制	活動場所	指導ボランティア
H30	1班：2.6名	2.5名につき1カ所	1.9名につき1名
H29	1班：2.7名	2.6名につき1カ所	2.0名につき1名
H28	1班：2.7名	2.7名につき1カ所	2.0名につき1名
H27	1班：2.7名	2.7名につき1カ所	2.1名につき1名
H26	1班：2.7名	2.8名につき1カ所	2.1名につき1名
H25	1班：2.8名	2.8名につき1カ所	2.1名につき1名
H24	1班：2.8名	2.9名につき1カ所	2.2名につき1名
H23	1班：2.8名	2.8名につき1カ所	2.2名につき1名
H22	1班：2.8名	2.9名につき1カ所	2.4名につき1名
H21	1班：2.9名	3.0名につき1カ所	2.4名につき1名
H20	1班：2.8名	3.0名につき1カ所	2.5名につき1名

## 2 公立中学校及び県立中等教育学校の活動について

### (1) 活動内容

#### ア 分野別

活動分野	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20
① 職場体験活動	82.9%	83.1%	82.8%	82.5%	83.8%	83.5%	84.4%	83.5%	81.7%	82.6%	82.0%
② ボランティア・福祉体験活動	9.0%	8.7%	8.9%	9.3%	8.3%	8.0%	7.3%	7.8%	7.8%	7.0%	7.5%
③ 文化・芸術創作体験活動※1	3.9%	3.7%	3.9%	4.0%	3.4%	3.1%	3.7%	3.9%	3.8%	4.5%	4.8%
④ 農林水産体験活動	2.2%	2.3%	2.3%	2.4%	2.2%	2.2%	2.4%	2.5%	2.7%	2.8%	2.9%
⑤ その他※2	2.0%	2.3%	2.1%	1.8%	2.3%	3.2%	2.2%	2.3%	4.0%	3.1%	2.8%

※1 ③「文化・芸術創作体験活動」には、平成16年度から「地域・郷土・芸能活動」が含まれている。

※2 ⑤「その他」には、「国際理解、科学技術、環境、情報」が含まれている。

#### イ 内容別（上位10の活動内容）

活動内容	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20
① 幼児教育	20.9%	20.8%	20.9%	20.8%	20.6%	21.1%	20.8%	20.7%	20.9%	21.1%	21.0%
② 販売	17.5%	17.7%	17.9%	17.6%	20.3%	19.6%	19.3%	19.2%	19.6%	19.3%	19.4%
③ 社会福祉施設	8.4%	8.0%	8.0%	8.0%	7.1%	6.9%	6.3%	6.5%	5.9%	5.4%	5.5%
④ 役所・消防署等	8.1%	8.5%	7.8%	7.7%	7.5%	8.0%	7.9%	8.4%	7.8%	8.0%	7.8%
⑤ 飲食店等	7.4%	7.1%	6.9%	7.0%	7.0%	6.5%	6.4%	6.6%	6.1%	6.4%	6.1%
⑥ 小学校・高校・大学	6.9%	6.7%	6.1%	5.9%	5.4%	5.5%	5.4%	5.0%	4.6%	4.6%	4.3%
⑦ 病院等	4.4%	4.1%	4.0%	3.8%	3.8%	3.7%	3.6%	3.7%	3.5%	2.9%	3.4%
⑧ 製造・建築	4.2%	4.3%	4.5%	4.7%	4.7%	5.1%	5.0%	4.7%	4.9%	4.9%	5.7%
⑨ 文化・芸術創作体験活動※	3.9%	3.7%	3.9%	4.0%	3.3%	3.1%	3.7%	3.9%	3.8%	4.5%	4.8%
⑩ スポーツ・体育施設等	3.4%	3.4%	3.5%	3.6%	3.5%	3.7%	3.7%	3.8%	3.7%	3.7%	—

※ ⑨「文化・芸術創作体験活動」には、平成16年度から「地域・郷土・芸能活動」が含まれている。

#### ウ 本年度の特色ある取組

<地域限定の施設での体験>	<地域特有産業等での体験>	<その他特徴的な体験>
・郷土ゆかりの作家の資料整理	・線香の包装、お香作り	・昆虫の観察、樹木の調査
・指定文化財の保全・説明業務	・たまねぎの収穫・出荷作業	・遺跡の発掘調査、出土品の整理
・舞台（演劇）スタッフの業務	・牡蠣の養殖作業の実習	・森林の調査、測量活動
・古民家の改修工事	・そろばん製作	・観光PR活動・ボランティアガイド
・コウノトリの生態観察・飼育	・釣竿・釣針の製造	・ピアノの調律
・キャンプ施設の整備	・太鼓の皮張り作業の体験	・ケーブルテレビ局での番組制作
・鉄道車両・レール点検活動	・鞆の製造・品質管理	・就労支援施設でのパン製造
・船のメンテナンス	・赤穂緞通を織る体験	・高齢者とのレクリエーション活動

### (2) 生徒の希望達成度

・第一希望が叶えられた生徒は、69.9%である。

活動内容	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20
・第一希望が叶えられた生徒	69.9%	69.4%	70.2%	68.4%	68.1%	69.1%	70.0%	70.9%	70.6%	70.0%	70.7%
・第二希望が叶えられた生徒	16.2%	16.7%	17.4%	17.1%	18.9%	17.6%	17.1%	16.5%	16.2%	16.5%	16.1%
・第三希望が叶えられた生徒	6.1%	7.0%	5.9%	6.4%	7.1%	7.4%	6.8%	6.6%	6.5%	7.2%	6.6%
・その他	7.8%	6.8%	6.5%	8.1%	6.0%	5.9%	6.1%	6.0%	6.7%	6.3%	6.6%

(3) 第一希望にならなかった生徒への対応（複数回答）

- ・活動の意義の話 ……69.9%
- ・他の紹介及び新しい受入先開拓 ……60.5%
- ・時間をかけて話し合った ……42.4%

(4) 生徒の「やりたいことができる」活動場所の確保について

- ・新規の活動場所の割合（数） …… 9.8%（1,680カ所）
- ・校区外の活動場所の割合（数） ……43.9%（7,503カ所）

(5) 事前指導について

ア 事前指導の平均時間数…11.2時間

イ 主な事前指導の内容例（公立中学校及び中等教育学校の実施率）

・趣旨及び活動説明会	(100%)	・名刺作り等	(90.9%)
・希望調査	(100%)	・出発式	(86.5%)
・受入先への訪問	(98.8%)	・ボランティア等との打ち合わせ	(74.6%)
・マナー指導等	(94.2%)	・他学年、地域等への啓発活動	(70.5%)
・受入先の紹介等	(93.0%)	・福祉学習	(26.0%)

(6) 事後指導について

ア 事後指導の平均時間数…8.0時間

イ 主な事後指導の内容例（公立中学校及び中等教育学校の実施率）

・礼状作成等	(97.1%)	・発展学習	(52.0%)
・感想文集作成等	(93.6%)	・「トライやる」アクション	(41.5%)
・実践発表会	(85.4%)	・交流会	(17.0%)
・広報活動	(57.9%)		

※ 発展学習実施校（178校）の内訳

情報学習	(64.0%)	福祉・健康学習	(53.9%)	人権学習	(39.9%)
防災学習	(29.2%)	環境学習	(18.5%)	平和学習	(12.9%)
国際理解学習	(11.2%)				

(7) 事前・事後指導における進路学習（キャリア教育含む）の実施

（公立中学校及び中等教育学校の実施率）

- ・事前指導のみ ……19.6%
- ・事後指導のみ …… 3.8%
- ・事前指導・事後指導どちらも実施……76.6%
- ・実施していない …… 0%

(8) 「トライやる・ウィーク」における校種間連携について

小学校と連携した取組の実施	53.5%	高等学校と連携した取組の実施	8.5%
---------------	-------	----------------	------

〔連携した内容〕

- ・小学校で活動した生徒が、給食指導、授業補助、環境整備、美化活動等に取り組んだ。
- ・事後発表会に児童が参加している。
- ・高等学校の農業園芸実習に参加している。

(9) 不登校生徒への影響（市立特別支援学校は除く）

- ・1年生の時に不登校の生徒（年間30日以上欠席）のうち、「トライやる・ウィーク」に全日参加した生徒は、489名（全体の40.2%）であった。
- ・実施後1ヵ月の状況は、192名（全日参加生徒の39.3%）の生徒の登校率が上昇した。

	調査校	在籍生徒数	左のうち1年生の時に不登校の生徒数	全日参加生徒数	実施後1ヵ月の状況 登校率の上昇した生徒	実施後2ヵ月の状況 登校率の上昇した生徒
H30	359校	44,831名	1,217名	489名	192名	180名
				40.2%	39.3%	36.8%
H29	360校	45,633名	1,140名	468名	198名	167名
				41.1%	42.3%	35.7%
H28	359校	46,930名	997名	428名	191名	176名
				42.9%	44.6%	41.1%
H27	346校	47,876名	994名	421名	126名	139名
				42.4%	29.9%	33.0%
H26	346校	48,548名	889名	360名	151名	136名
				40.5%	41.9%	37.8%
H25	347校	49,128名	977名	442名	188名	178名
				45.2%	42.5%	40.3%
H24	348校	49,399名	984名	457名	175名	157名
				46.4%	38.3%	34.4%
H23	348校	48,781名	916名	427名	163名	154名
				46.6%	38.2%	36.1%
H22	350校	48,614名	887名	344名	128名	129名
				38.8%	37.2%	37.5%
H21	352校	48,021名	934名	383名	152名	143名
				41.0%	39.7%	37.3%
H20	354校	49,323名	948名	405名	151名	139名
				42.7%	37.3%	34.3%

### 3 市立特別支援学校の活動について(平成 17 年度から実施)

(1) 実施校数 17 校

6 月を中心に実施した学校：5 校、11 月を中心に実施した学校：12 校

(2) 実施期間 平成 30 年 5 月 28 日～平成 30 年 11 月 22 日

(3) 参加生徒数 130 名 (44 クラス、在籍生徒数 135 名)

(4) 班数 78 班 (1 班平均 1.7 名)

(5) 指導ボランティア数 304 名 (生徒 0.4 名につき 1 名)

(6) 介助補助員数 51 名 (生徒 2.5 名につき 1 名)

(7) 活動場所数 99 カ所

居住地中学校区内で活動した生徒の割合 61.6% (61 名/130 名)

	実施校数	2 年生		班の数	活動場所 の数	指導ボラン ティアの数	介助補助員 の数
		学級数	生徒数				
H30	17	44	130	78	99	304	51
H29	18	57	164	95	112	238	66
H28	17	55	150	120	109	174	96
H27	18	46	135	109	109	234	109
H26	16	45	146	103	182	201	86
H25	17	37	112	58	86	153	51
H24	18	41	115	85	119	137	55
H23	17	41	104	68	96	149	89
H22	18	38	104	68	93	145	118

	班編制	活動場所数	指導ボランティア数	介助補助員数
H30	1 班：1.7 名	1.3 名につき 1 カ所	0.4 名につき 1 名	2.5 名につき 1 名
H29	1 班：1.7 名	1.5 名につき 1 カ所	0.7 名につき 1 名	2.5 名につき 1 名
H28	1 班：1.3 名	1.4 名につき 1 カ所	0.9 名につき 1 名	1.6 名につき 1 名
H27	1 班：1.2 名	1.2 名につき 1 カ所	0.6 名につき 1 名	1.2 名につき 1 名
H26	1 班：1.4 名	0.8 名につき 1 カ所	0.7 名につき 1 名	1.7 名につき 1 名
H25	1 班：1.3 名	1.3 名につき 1 カ所	0.7 名につき 1 名	2.2 名につき 1 名
H24	1 班：1.4 名	1.0 名につき 1 カ所	0.8 名につき 1 名	2.1 名につき 1 名
H23	1 班：1.5 名	1.1 名につき 1 カ所	0.7 名につき 1 名	1.2 名につき 1 名
H22	1 班：1.5 名	1.1 名につき 1 カ所	0.7 名につき 1 名	0.9 名につき 1 名

(8) 活動内容

ア 分野別

活動分野	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
① 職場体験活動	55.0%	53.4%	64.2%	58.3%	53.4%	61.5%	62.9%	55.8%	45.5%
② ボランティア・福祉体験活動	23.9%	9.5%	16.0%	16.9%	19.5%	13.1%	12.7%	23.5%	16.5%
③ 文化・芸術創作体験活動	10.6%	17.2%	4.9%	5.8%	2.5%	8.9%	9.1%	7.3%	6.5%
④ 農林水産体験活動	10.2%	14.3%	8.7%	15.2%	12.7%	7.0%	11.1%	12.7%	15.6%
⑤ その他	0.3%	5.6%	6.1%	3.8%	11.9%	9.6%	4.2%	0.8%	16.0%

イ 内容別 (平成 30 年度上位 6 の活動内容)

① 農林水産体験活動	10.2%	④ 役所・消防署	6.2%
② 交通機関	8.4%	⑤ 販売	4.3%
③ 水族館	7.8	⑥ 製造・建築	3.7%

ウ 本年度の特色ある取組

・水族園	・交通機関	・消防署	・警察
・介護体験	・作業所での作業補助		

## II 地域連携推進活動（地域に活かす「トライやる」アクション）実施状況について

(1) 実施校 219校 61.0% (H29 212校 58.9%)

(2) 参加生徒数 ( )内は特別支援学校生徒参加数：内数

学年	参加生徒数	1校当たりの参加生徒数
1年生	15,241名(40)	69.6名
2年生	17,985名(43)	82.1名
3年生	12,507名(23)	57.1名
合計	45,733名(106)	208.8名

(3) 活動内容について ( )内は特別支援学校：内数 (複数回答)

活動区分	実施校数	割合	実施回数	割合
地域の祭り等を企画、運営する活動	113校(2)	51.6%	292(5)	29.5%
清掃活動やボランティア等を諸団体と連携して行う活動	172校(3)	78.5%	558(4)	56.4%
「トライやる・ウィーク」の継続的な活動	59校(2)	26.9%	140(5)	14.1%
合計	※母数は、実施校数		990(14)	100%

(4) 活動の内容例

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の夏祭り・運動会・音楽会等の企画</li> <li>・地域伝統行事への参加及び運営補助（盆踊り、餅つき、各地の祭り 等）</li> <li>・地域行事への参加及び運営補助（マラソン大会、防災訓練 なわとび大会 等）</li> <li>・親子清掃活動、クリーンキャンペーン、資源ごみ回収、海岸清掃</li> <li>・ふれあいコンサート、定期演奏会、訪問演奏会</li> <li>・街頭共同募金（赤い羽根、東日本大震災復興）</li> <li>・点字・手話体験教室</li> <li>・敬老会、デイサービス・老人ホームでのボランティア</li> <li>・こども園夏祭り、幼稚園芋掘り体験、子育てボランティア体験（クリスマス会）</li> </ul>
--

(5) 実施時期について ( )内は特別支援学校：内数 (複数回答)

	実施校数	割合	実施回数	割合
土曜、日曜日等を利用して実施	186校(5)	84.9%	635(10)	64.1%
夏季休業中に実施	139校(2)	63.5%	332(4)	33.5%
冬季休業中に実施	11校(0)	5.0%	16(0)	1.6%
春季休業中に実施	5校(0)	2.3%	7(0)	0.7%
合計	※母数は、実施校数		990(14)	100%



[資料1] 平成30年度地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施後アンケート調査の結果（調査実施校数 342校）

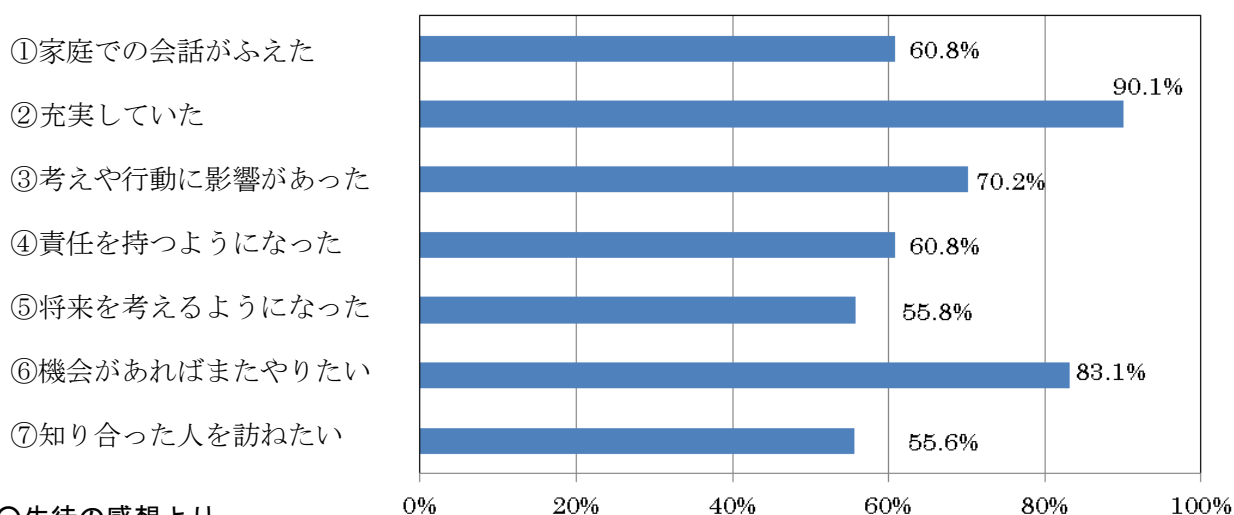
- 1 生徒アンケート（回答数 42,140人）
- 2 保護者アンケート（回答数 35,130人）
- 3 関係者アンケート（回答数 13,908人）
- 4 教職員アンケート（回答数 3,136人）



1 生徒アンケート（回答数 42, 140 人）

質問項目	平成30年度	平成29年度
働くことの大切さ、厳しさ、楽しさを感じた	89.6%	90.5%
コミュニケーションの大切さを感じた	78.3%	79.8%
社会のルールやマナーの大切さを感じた	72.5%	74.5%
大人の人の優しさを感じた	69.4%	71.3%
人のために役に立つうれしさを感じた	68.9%	70.4%
達成感や自信を感じた	68.5%	68.8%
人とのふれあうことの楽しさを感じた	66.3%	67.7%
保護者や大人の人への感謝の気持ちを感じた	65.5%	66.5%
学校で学んだり活動する目的の大切さを感じた	49.0%	50.1%

- (設問)
- ①「トライやる・ウィーク」を体験する中で、家庭での会話がふえた。
  - ②自分にとって、「トライやる・ウィーク」の一週間は充実していた。
  - ③「トライやる・ウィーク」の活動で、自分の考えや行動に影響があった。
  - ④「トライやる・ウィーク」の活動を終えて、自分の決めたことに責任を持つようになった。
  - ⑤「トライやる・ウィーク」の活動を終えて、自分の進路や将来などについて考えるようになった。
  - ⑥「トライやる・ウィーク」のような活動を機会があればまたやりみたい。
  - ⑦「トライやる・ウィーク」が終わってからも、「トライやる・ウィーク」をきっかけに知り合った人たちを訪ねたいと思う。

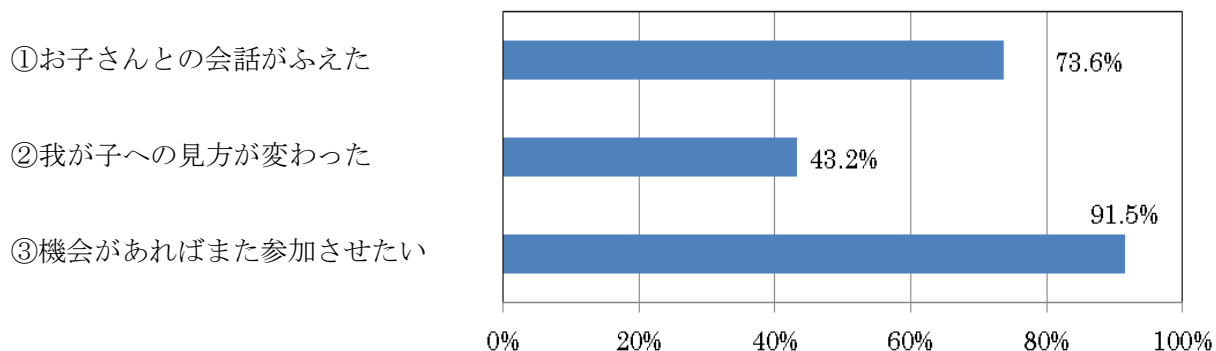


○生徒の感想より

- ・計画性を持って行動することの大切さや丁寧に対応することの難しさ、人を思いやることの大切さを学ぶことができた。自分の将来について今まで以上に考えられるようになった。
- ・自分のためだけでなく、人のために仕事があることを学び、感謝される喜びを感じた。
- ・自分が見えないところでも、多くの人が誰かのために働いていることに気付いた。
- ・積極的に行動することの必要性や、挨拶、返事など細かいところに気を配る大切さを感じた。
- ・自分の親も、毎日こんな大変な思いをしながら頑張ってくれていると思うと、感謝しなければと思った。
- ・自分の存在意義を感じる事ができた。仕事をする事は、誇りを持つことだと思う。

## 2 保護者アンケート（回答数 35, 130 人）

- （設問）
- ①「トライやる・ウィーク」を体験する中で、お子さんとの会話がふえた。
  - ②「トライやる・ウィーク」の活動を通して、我が子への見方が変わった。
  - ③「トライやる・ウィーク」のような活動を機会があれば、また参加させたい。

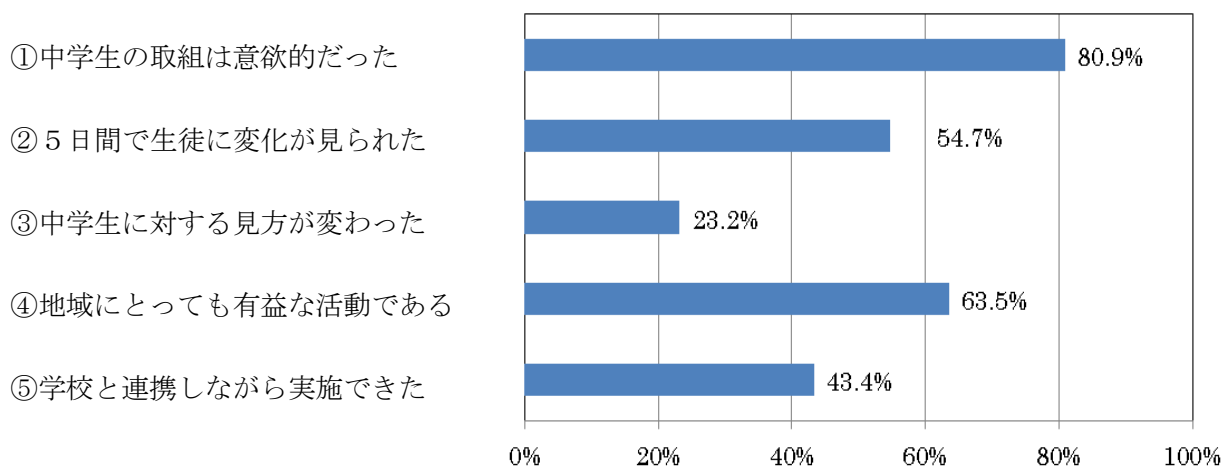


### ○保護者の感想より

- ・「してもらおう」という子どもの立場から、社会の一員として役割を果たす立場に近づき、やりがいや喜び、難しさを実感できました。
- ・身近に社会を感じることで、自立心や目標、責任感も出てきて、他校の生徒とのかかわりも加わって、考え方に変化が出てくると思います。
- ・普段の学校生活では得られないような充実感や学びがあった様子で楽しく活動できていました。積極的、意欲的な一面も見られ、成長を感じました。
- ・子どもたちの一生懸命な姿と温かく接して下さっている地域の方々の姿に心温まります。5日間の経験が出会いになり、その後もつながっていく貴重な体験をさせていただき、感謝しています。
- ・子どもにとって社会に出て働くことの苦勞の一端を知ることができるだけでなく、満足感や喜びを感じ社会に出ることへ前向きな気持ちを持つことは大きな学びでした。
- ・1年次の職業講話や他のキャリア教育への取組など、事前指導からきちんとしていただいて、「トライやる・ウィーク」に参加する意味を理解し活動できていたと思います。
- ・中学2年生という多感なこの時期にとっても素晴らしい体験・経験をさせていただきました。
- ・社会に出て働くことの厳しさを知ったと思います。毎日毎日顔が変わっていきました。

### 3 関係者アンケート（回答数 13,908人）

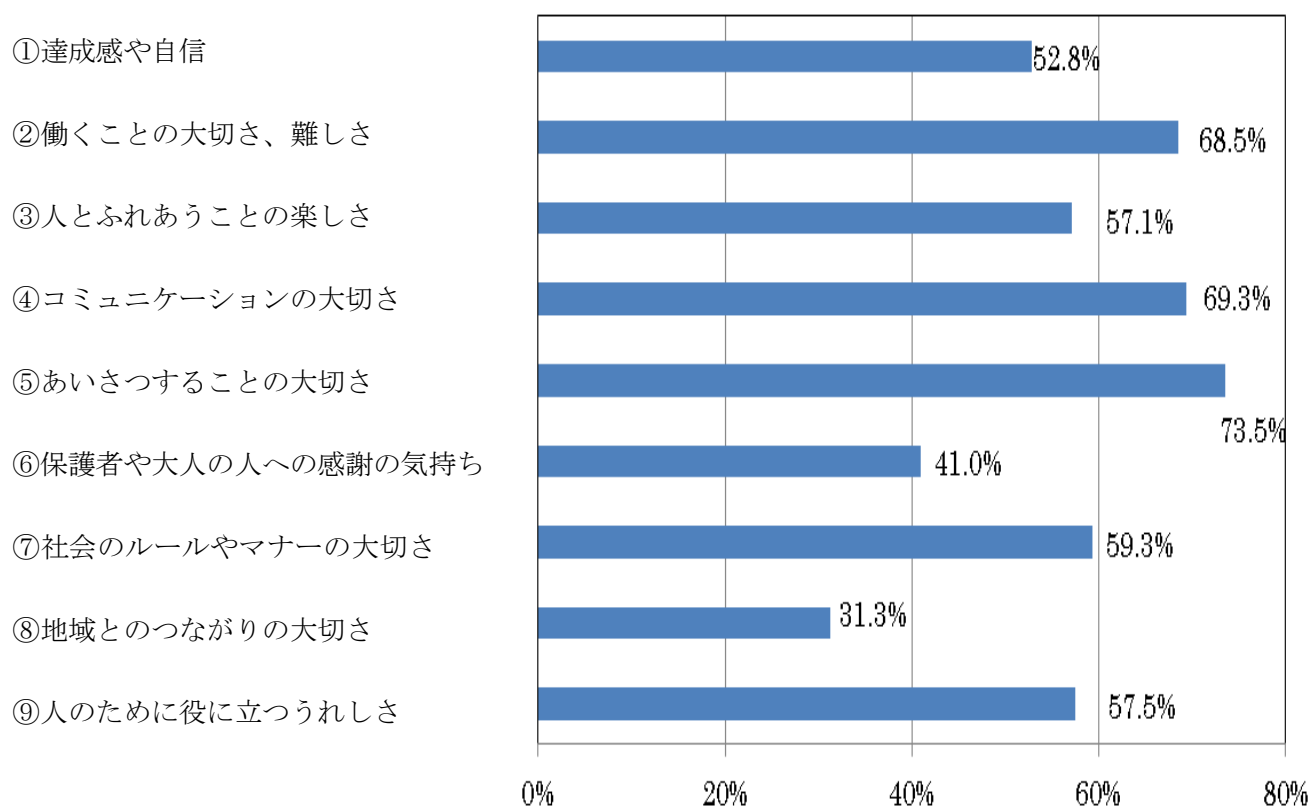
- （設問）①「トライやる・ウィーク」に参加した中学生の取組は意欲的だった。  
②「トライやる・ウィーク」の5日間で生徒に変化が見られた。  
③この一週間で中学生に対する見方が変わった。  
④「トライやる・ウィーク」は地域にとっても有益な活動である。  
⑤学校と連携しながら実施できた。



#### ○ 指導ボランティアの感想より

- ・生徒さんはどの方も一生懸命で、大人の私達も見習うこともたくさんありました。5日間で生徒の仕事に対する取り組みに変化が見られました。
- ・「トライやる・ウィーク」開始当初から続けており、生徒のみなさんの成長が一番の楽しみです。地域活動の一環として生徒のみなさんを預かることでたくさんの事を学ぶことができます。
- ・今回初めて協力してもらいましたが、生徒たちの笑顔に我々が元気をもらえたり、利用者に喜んでいただけたらと思います。
- ・中学生だけでなく、受け入れる側の私たちも、中学生に指導していく過程で何か気づかされ、勉強になることが多いと思います。
- ・学校の中では学べない地域の方々との縦のつながりが経験できると思うので、今後も継続してほしいと思います。できるだけ協力していきたいです。
- ・生徒の皆さんが挨拶がしっかりとできていて、従業員一同気持ちよかったです。学校と家庭と地域が連携して「教育」という成果が上がっていると感じました。
- ・体験を通して、普段の授業とは違う学びがたくさんあると思います。人と触れ合うことの大切さ、役に立つ嬉しさから自己肯定感、周りの人への感謝の気持ちなどたくさん学んでほしいと思います。

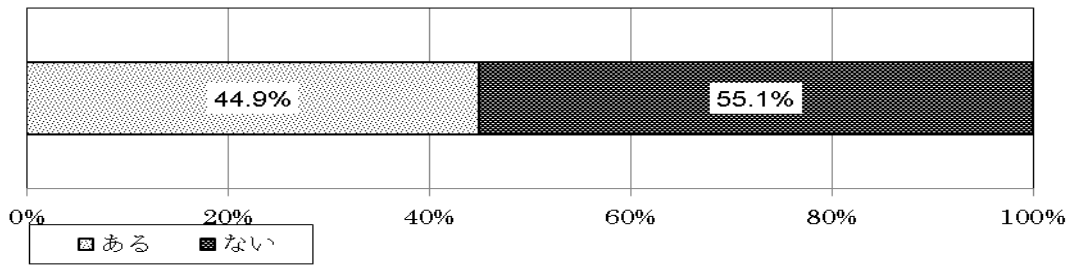
(設問) 受入先での社会体験において、生徒に身に付けてほしい力。



○ 身に付けてほしい力 (こと) (その他)

- ・ 困難そうなこと、全く未経験のことに挑戦する力。
- ・ 将来の進路・職業選択について真面目に向き合える力。
- ・ 失敗しても対応ができる柔軟さ。
- ・ 自分で考えて行動できる力。
- ・ 他国の人と助け合い、共生していく力。
- ・ 組織で働くこと、チームで働くことの大切さ。
- ・ 自分の意思を大きな声で相手に伝える力。
- ・ 将来の目標を設定し、それに向かって頑張る力。
- ・ 地域の産業・歴史の成り立ちを理解しようとする力。
- ・ 仲間と協力して、助け合いながら物事に取り組む力。
- ・ 夢を持ち、今を大事に生きる力。

(設問) 「トライやる・ウィーク」以外の学校や生徒とのつながりがありますか。

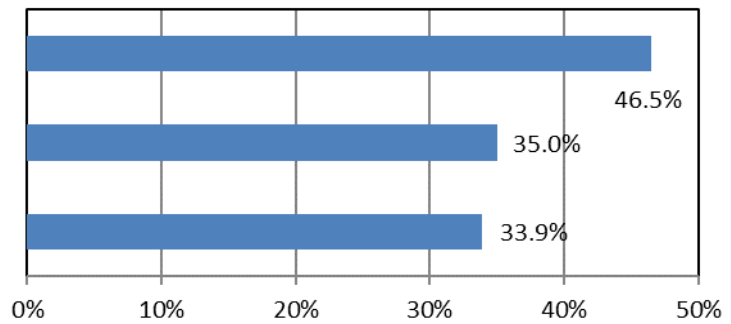


【つながりの内容】

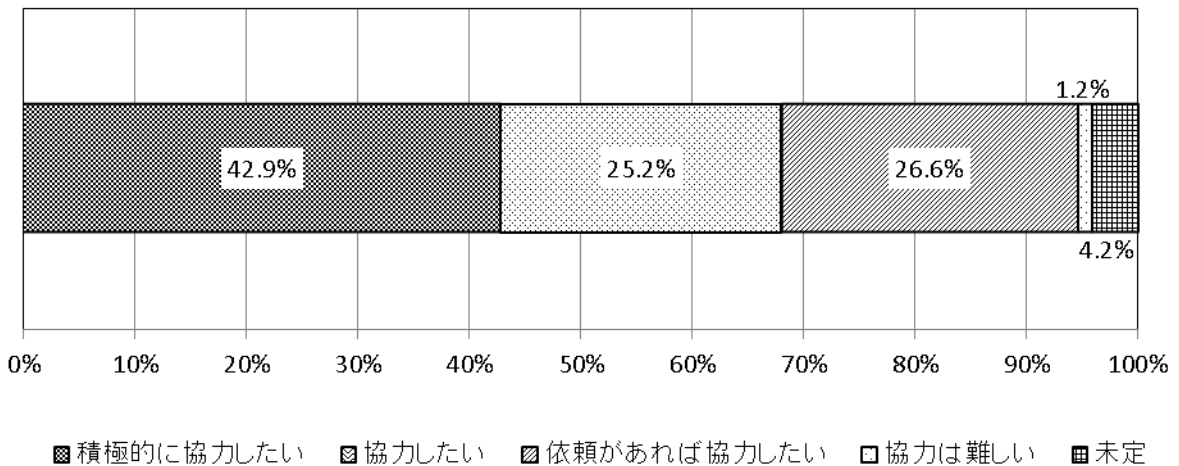
①あいさつや会話

②学校の行事等への参加

③事業所の行事等への生徒の参加

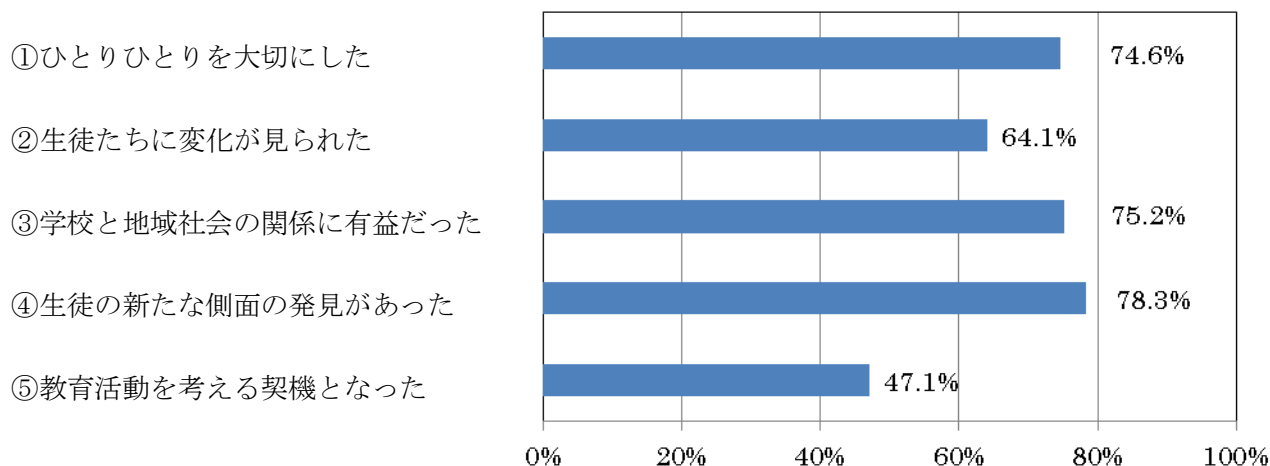


(設問) 来年度以降も、「トライやる・ウィーク」にご協力をお願いしますか。



#### 4 教職員アンケート（回答数 3, 136 人）

- （設問）
- ①ひとりひとりを大切にしたい「トライやる・ウィーク」が実施できた。
  - ②「トライやる・ウィーク」を通して生徒たちに変化が見られた。
  - ③「トライやる・ウィーク」が学校と地域社会の関係にとって有益な活動であった。
  - ④「トライやる・ウィーク」を通して生徒の新たな側面などの発見があった。
  - ⑤「トライやる・ウィーク」が教育活動を考える契機となった。



#### ○ 教職員の感想より

- ・ 生徒の学校の教育活動ではできない体験により学校で得られない変化がみられて有意義に感じた。2年間で培ったものや事前学習の成果を感じてうれしかった。
- ・ 終わった後の生徒の顔がとても清々しく、とても充実感のあるトライやる・ウィークだったのと感じた。
- ・ 特別支援学級の担任としては、子どもたち一人一人にボランティアがついてくださり、ありがたかった。
- ・ 受入れ先で、きめ細かく生徒の指導をしてくださったり、ていねいに計画を立ててくださったりした。社会全体で生徒を育てていただいていると実感した。
- ・ 受入れ先からの評価や活動の様子を見るなかで、普段の学校生活では見ることでできない生徒の側面が見ることができた。
- ・ 事後指導での発表会で、1年生や保護者や推進委員会の方々に、班ごとにプレゼンテーションができ、自信を深めた生徒、課題を見つけられた生徒がおり、今後の学習に活かしたい。
- ・ 事前・事後指導では、キャリア教育やふるさと教育を関連付けて指導することで、「トライやる・ウィーク」の趣旨をより深めることができた。
- ・ 生徒が活動を通して、社会の仕組みを知り、将来の見通しを立てることに役立つ活動になった。また、保護者や地域の方々に感謝することができるようになった。

[資料2] 平成30年度「トライやる・ウィーク」校区推進委員会について

1 校区推進委員会の設置状況

すべての公立中学校、県立中等教育学校、市立特別支援学校、市立義務教育学校に設置されている。

2 校区推進委員会への参加者数及び内訳（平均人数）

学校関係	P T A関係	地域団体代表等	合 計
6.0名	6.2名	6.2名	18.4名

3 推進委員会の機能の状況

よく機能している	概ねできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計
19.6%	56.4%	19.0%	5.0%	100%

4 校区推進委員会が行っている活動例

・保護者、地域への啓発・協力依頼	・・・	73.4%
・受入先の開拓	・・・	62.0%
・受入先の検討	・・・	55.6%
・巡回訪問	・・・	53.8%
・事前・事後指導における支援	・・・	37.1%
・生徒の活動についての検討	・・・	41.8%
・アンケート・まとめ	・・・	26.9%
・取材	・・・	14.3%